ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市保健所及び関連施設新築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	
シートNo.	

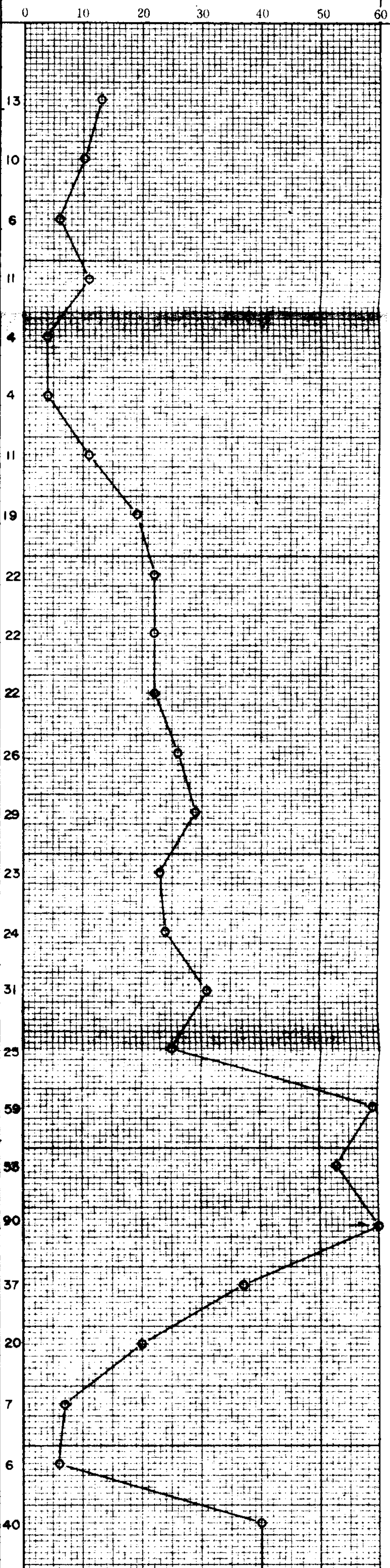
ボーリング名	NO. 1	調査位置	千葉市幸町1丁目35番5号	北緯	35° 36′ 24″
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課	調査期間	平成元年6月24日～平成元年9月6日	東経	140° 6′ 19″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	+0.44 m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	試錐機：カノーKR-100型	ハンマー落下用具	
総掘進長	35.40 m	エンジン	ヤンマー 8馬力	ポンプ	プランジャーポンプ V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	-1.26	1.70	1.70	埋土(細砂)	暗褐			0～0.4mが礫混入する. 粒子均一 含水少ない.
2	-2.16	0.90	2.60	埋土(細砂)	暗褐			貝ガラ片点入する. 含水少ない.
3	-3.46	1.30	3.90	細砂	暗灰	ゆるい		貝ガラ片混入する. 含水多い
4	-4.26	0.80	4.70	細砂	暗灰	中位の		貝ガラ片混入する. 含水多い
5	-5.16	0.90	5.60	シルト	暗灰褐		中位	均質な層相である.
6	-6.16	1.00	6.60	シルト	暗灰		中位	均質な層相である.
7	-7.16	1.00	7.60	細砂	暗褐	中位の		粒子均一 下部黄褐色細砂となる.
8～9	-9.16	2.00	9.60	細砂	茶黄褐	中位の		酸化鉄分を含む 粒子均一
10～17	-17.16	8.00	17.60	細砂	暗黄褐	中位の		粒子均一. 所々酸化鉄分を含む. 全体的に含水多い.
18	-18.26	1.10	18.70	細砂	暗黄褐	非常に密な		粒子均一. 含水多い.
19	-19.26	1.00	19.70	細砂	暗褐	非常に密な		粒子均一 含水多い
20～21	-21.26	2.00	21.70	細砂	暗灰褐	非常に密な～密な		貝ガラ片混入する. 粒子均一
22	-22.16	0.90	22.60	硬質シルト	暗黄褐		非常に硬い	上部・下部は暗灰褐色を呈す. 均質な層相となっている.
23	-23.36	1.20	23.80	粘土質シルト	暗灰		中位	貝ガラ小片混入する. 含水少ない.
24	-24.36	1.00	24.80	粘土質シルト	暗灰		中位	細砂.貝ガラ片を混入する. 含水少ない.
25～26						密な		粒子均一 含水多い

孔内水位(m)／測定月日：7/6　2.00

掘進月日：7/6

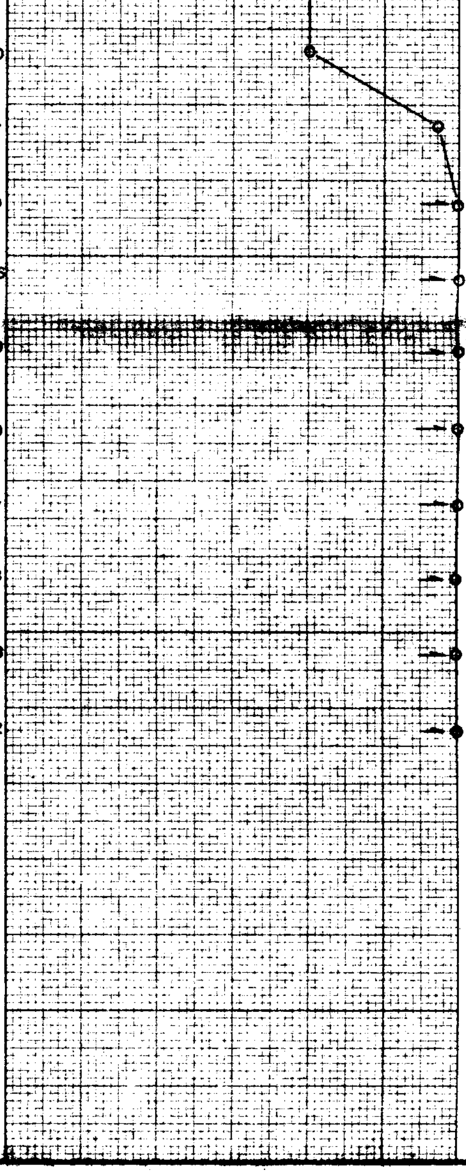
深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15～1.45	4	4	5	13/30	13
2.15～2.45	4	3	3	10/30	10
3.15～3.45	3	2	1	6/30	6
4.15～4.45	3	4	4	11/30	11
5.15～5.45	2	1	1	4/30	4
6.15～6.45	2	1	1	4/30	4
7.15～7.45	3	4	4	11/30	11
8.15～8.45	5	6	8	19/30	19
9.15～9.45	4	8	10	22/30	22
10.15～10.45	6	7	9	22/30	22
11.15～11.45	6	7	9	22/30	22
12.15～12.45	6	9	11	26/30	26
13.15～13.45	9	10	10	29/30	29
14.15～14.45	5	8	10	23/30	23
15.15～15.45	7	8	9	24/30	24
16.15～16.45	7	11	13	31/30	31
17.15～17.45	6	8	11	25/30	25
18.15～18.45	11	18	30	59/30	59
19.15～19.45	11	16	26	53/30	53
20.15～20.35	25	35		60/20	90
21.15～21.45	11	13	13	37/30	37
22.15～22.45	8	7	5	20/30	20
23.15～23.45	2	2	3	7/30	7
24.15～24.45	2	2	2	6/30	6
25.15～25.45	12	13	15	40/30	40
26.15～				40/	



原位置試験：試験名および結果（水頭測定用観測井設置）

標尺	標高	層厚	深度	土質区分	色調	相対密度	記事
26						な	含水多い
27	-27.26	2.90	27.70	細砂	暗灰		
28	-28.16	0.90	28.60	固結 細砂	[illegible]	非常[illegible]	酸化鉄分を含み固結する. 粒子均一. 含水多い.
29–35	-34.96	6.80	35.40	細砂	暗褐	非常に密な	粒子均一 含水多い
36							
37							
38							
39							
40							

深度 (m)	0~10	10~20	20~30	打撃回数/貫入量	N値
26.15 / 26.45	10	13	17	40/30	40
27.15 / 27.45	14	18	25	57/30	57
28.15 / 28.41	14	25	21/6	60/26	69
29.15 / 29.36	25	30	5/1	60/21	86
30.15 / 30.35	25	35		60/20	90
31.15 / 31.45	11	22	27	60/30	60
32.15 / 32.43	20	25	15/8	60/28	64
33.15 / 33.38	25	27	8/3	60/23	78
34.15 / 34.38	22	33	5/3	69/23	78
35.15 / 35.40	20	25	15/5	60/25	72



7/7

7/10

〈凡 例〉

柱状図および土質区分

第 1 分類

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土 (GF)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SF)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土 (腐植土) (Pt)	

第 2 分類

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混り (−B)	
	砂利, 礫混り (−G)	
	砂混り (−S)	
	シルト混り (−M)	
	粘土混り (−C)	
	有機質土混り (−O)	
	火山灰混り (−V)	
	貝殻混り (−Sh)	

第 3 分類

区分		分類名	図模様
岩石材料	岩盤	硬岩 (HR)	
		中硬岩 (MR)	
		軟岩, 風化岩 (WR)	
	玉石 (B)		
特殊土材料		浮石 (軽石) (Pm)	
		シラス (Si)	
		スコリア (Sc)	
		火山灰 (VA)	
		ローム (Lm)	
		黒ボク (Kb)	
		マサ (WG)	
表土 (Ss)			
埋土 (FI)			
廃棄物 (W)			

試料採取方法

- Ⓣ シンウォールサンプラーによる
- Ⓓ デニソンサンプラーによる
- ㊀ 貫入試験器による
- Ⓕ フォイルサンプラーによる
- Ⓐ (　　　　　　　　)による

備考

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市保健所及び関連施設新築地質調査業務委託

ボーリングNo.										

事業・工事名

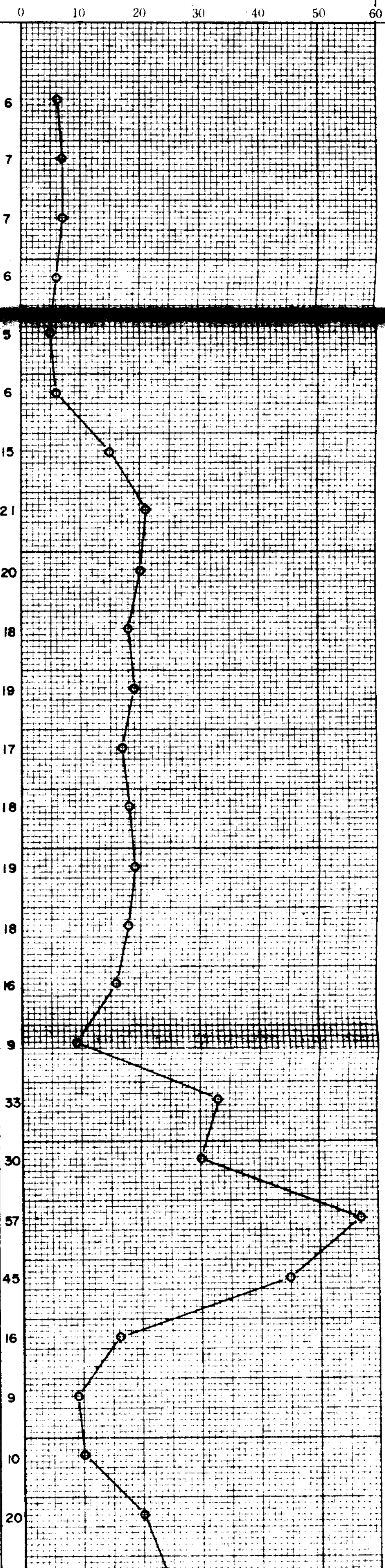
シートNo.

ボーリング名	NO.2	調査位置	千葉市幸町1丁目35番5号	北　緯	35° 36′ 24″
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課	調査期間	平成元年6月24日～平成元年9月6日	東　経	140° 6′ 19″
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+0.26 m	角度 180° 上 90° 下 0°	方向 北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種
総掘進長	35.43 m	試錐機	カノー KR-100型	ハンマー落下用具	
		エンジン	ヤンマー 8馬力	ポンプ	プランジャーポンプ V-6

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
-2.64	2.90	2.90		埋土(細砂)	茶褐～褐灰			0～0.30m茶褐色腐植物混りローム 0.30m～貝ガラ混り細砂
-4.24	1.60	4.50		細砂	暗灰	ゆるい		貝ガラ片少量混入する. シルト分を混入する.
-6.74	2.50	7.00		細砂	黄褐	ゆるい		[illegible] シルト・粘土分を含む.
-8.74	2.00	9.00		細砂	黄茶褐	中位の		シルト・粘土分混る. 所々1mm厚程度に粘土挟在.
-12.74	4.00	13.00		細砂	黄褐	中位の		少量シルト・粘土分混る. 所々黄茶褐色細砂斑点状に混る.
-14.74	2.00	15.00		細砂	黄褐灰	中位の		少量シルト・粘土分混る. 微細砂混る.
-19.34	4.60	19.60		細砂	暗黄灰	中位の		上部シルト・粘土分混入する. 所々1～2mm厚の粘土層挟在
-21.04	1.70	21.30		細砂	褐灰	密な		貝ガラ片混入する. 所々2～5mm厚で貝ガラ層挟在
-22.24	1.20	22.50		硬質シルト	黄褐灰		非常に硬い	砂を少量混入する. 少量貝ガラ片混入
-24.54	2.30	24.80		シルト	暗青灰		硬い	砂を少量混入する. 少量貝ガラ片混入 所々2～3mm厚で砂層挟在
						中位		少量粘土・シルト混入する. 微細砂混入する.

孔内水位(m)／測定月日: 7/7 2.80

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値	試料採取 深度 (m)	採取方法
1.15～1.45	1	2	3	6/30	6	1.15～1.45	⊖
2.15～2.45	2	2	3	7/30	7	2.15～2.45	⊖
3.15～3.45	2	3	2	7/30	7	3.15～3.45	⊖
4.15～4.45	1	2	3	6/30	6	4.15～4.45	⊖
[illegible]～5.45	1	2	2	[illegible]/30	5	[illegible]～5.45	⊖
6.15～6.45	2	2	2	6/30	6	6.15～6.45	⊖
7.15～7.45	4	5	6	15/30	15	7.15～7.45	⊖
8.15～8.45	6	7	8	21/30	21	8.15～8.45	⊖
9.15～9.45	6	6	8	20/30	20	9.15～9.45	⊖
10.15～10.45	5	6	7	18/30	18	10.15～10.45	⊖
11.15～11.45	6	6	7	19/30	19	11.15～11.45	⊖
12.15～12.45	5	5	7	17/30	17	12.15～12.45	⊖
13.15～13.45	5	6	7	18/30	18	13.15～13.45	⊖
14.15～14.45	6	6	7	19/30	19	14.15～14.45	⊖
15.15～15.45	5	6	7	18/30	18	15.15～15.45	⊖
16.15～16.45	5	5	6	16/30	16	16.15～16.45	⊖
17.15～17.45	2	3	4	9/30	9	17.15～17.45	⊖
18.15～18.45	7	11	15	33/30	33	18.15～18.45	⊖
19.15～19.45	9	10	11	30/30	30	19.15～19.45	⊖
20.15～20.45	18	19	20	57/30	57	20.15～20.45	⊖
21.15～21.45	17	18	10	45/30	45	21.15～21.45	⊖
22.15～22.45	4	6	6	16/30	16	22.15～22.45	⊖
23.15～23.45	2	3	4	9/30	9	23.15～23.45	⊖
24.15～24.45	3	3	4	10/30	10	24.15～24.45	⊖
25.15～25.45	6	7	7	20/30	20	25.15～25.45	⊖
26.15				24		26.15	⊖

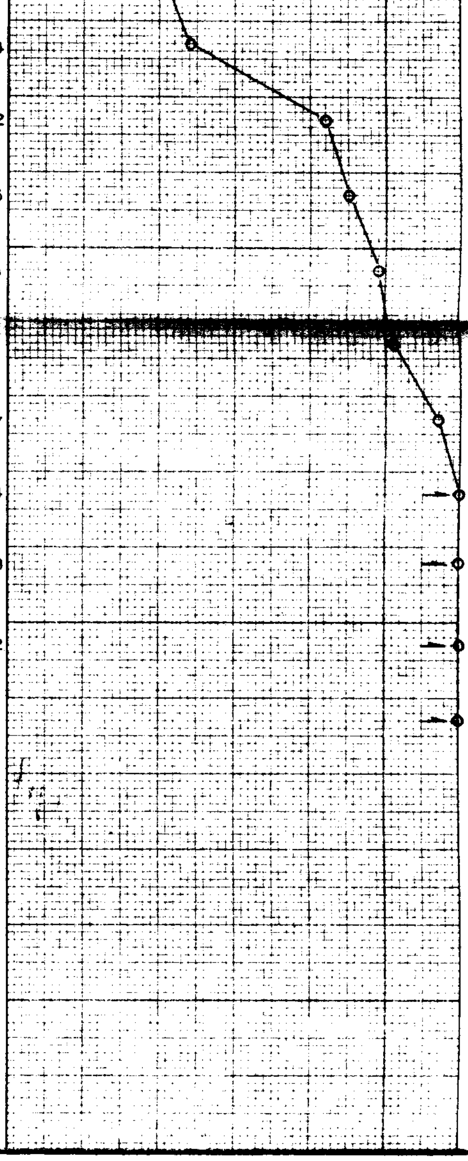


原位置試験 / 室内試験 / 掘進月日: (記入なし)

標高	層厚	深度	土質名	色調	相対密度	記事
					位の	微細砂混入する。
-26.74	2.20	27.00	細砂	暗青灰		
					密な	微細砂混入する。 少量粘土・シルト混入する。
-28.74	2.00	29.00	細砂	暗青灰		
					非常に密な	少量粘土・シルト混入する。 中砂を混入する。 微細砂混入する。 所々固結部分ある。
-35.17	6.43	35.43	細砂	暗青灰		

試験深度 (m)	0〜10	10〜20	20〜30	打撃回数/貫入量	N値	試料深度	採取方法
26.15–26.45	7	8	9	24/30	24	26.15–26.45	⊖
27.15–27.45	13	14	15	42/30	42	27.15–27.45	⊖
28.15–28.45	14	15	16	45/30	45	28.15–28.45	⊖
29.15–29.45	15	16	18	49/30	49	29.15–29.45	⊖
30.15–30.45	16	17	18	51/30	51	30.15–30.45	⊖
31.15–31.45	18	19	20	57/30	57	31.15–31.45	⊖
32.15–32.43	20	21	19/8	60/28	64	32.15–32.43	⊖
33.15–33.38	25	26	9/3	60/23	78	33.15–33.38	⊖
34.15–34.37	27	28	5/2	60/22	82	34.15–34.37	⊖
35.15–35.43	19	20	21/8	60/28	64	35.15–35.43	⊖

7/7



〈凡 例〉

柱状図および土質区分

第 1 分類

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土(GF)	
	砂 (S)	
	砂質土(SF)	
	シルト(M)	
	粘性土(C)	
	有機質土(O)	
	火山灰質粘性土(V)	
	高有機質土(腐植土) (Pt)	

第 2 分類

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質(S)	
	シルト質(M)	
	粘土質(C)	
	有機質(O)	
	火山灰質(V)	
	玉石混り(−B)	
	砂利、礫混り(−G)	
	砂混り(−S)	
	シルト混り(−M)	
	粘土混り(−C)	
	有機質土混り(−O)	
	火山灰混り(−V)	
	貝殻混り(−Sh)	

第 3 分類

区分		分類名	図模様
岩石材料	岩盤	硬岩(HR)	
		中硬岩(MR)	
		軟岩、風化岩(WR)	
	玉石(B)		
特殊土材料	浮石(軽石)(Pm)		
	シラス(Si)		
	スコリア(Sc)		
	火山灰(VA)		
	ローム(Lm)		
	黒ボク(Kb)		
	マサ(WG)		
表土(Ss)			
埋土(FI)			
廃棄物(W)			

試料採取方法

Ⓣ シンウォールサンプラーによる
Ⓓ デニソンサンプラーによる
⊖ 貫入試験器による
Ⓕ フォイルサンプラーによる
Ⓐ (　　　　　　　)による

備考

ボーリング柱状図

調査名 千葉市保健所及び関連施設新築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	NO. 3	調査位置	千葉市幸町1丁目35番5号	北緯	35° 36′ 24″
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課	調査期間	平成元年6月24日 ～ 平成元年9月6日	東経	140° 6′ 19″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+0.29 m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	35.35 m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°		
使用機種	試錐機	カノー KR-100型	ハンマー落下用具		
	エンジン	ヤンマー 8馬力	ポンプ	プランジャーポンプ V-6	

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
-2.31	2.60	2.60	埋土(細砂)	暗褐			0～0.15mまでローム 貝ガラ小片混入する
-3.41	1.10	3.70	細砂	暗青灰	ゆるい		含水多い
-4.51	1.10	4.80	細砂	暗灰	ゆるい		含水多い 貝ガラ小片混入する.
-5.41	0.90	5.70	細砂	暗灰褐	中位の		含水多い
-14.31	8.90	14.60	細砂	暗黄褐	中位の～密な		粒子均一である. 含水多い
-17.41	3.10	17.70	細砂	暗黄褐	密な		若干シルト分を含む. 含水多い
-18.51	1.10	18.80	貝ガラ混り細砂	暗褐灰	非常に密な		貝ガラ片多量混入する.
-19.41	0.90	19.70	貝ガラ混り細砂	暗褐灰	非常に密な		貝ガラ片多量混入する.
-20.31	0.90	20.60	細砂	暗褐	密な		シルト分を少量含む.
-21.41	1.10	21.70	硬質シルト	暗黄褐		固結した	均質な層相である. 粘着力大
-22.51	1.10	22.80	粘土質シルト	暗青灰		中位	均質層相を示し含水少ない.
-23.41	0.90	23.70	砂質シルト	暗青灰		中位	貝ガラ小片混入する.
-25.31	1.90	25.60	細砂	暗青灰	密な～非常に密な		含水多い. 粒子均一である.
					非…		含水多い.

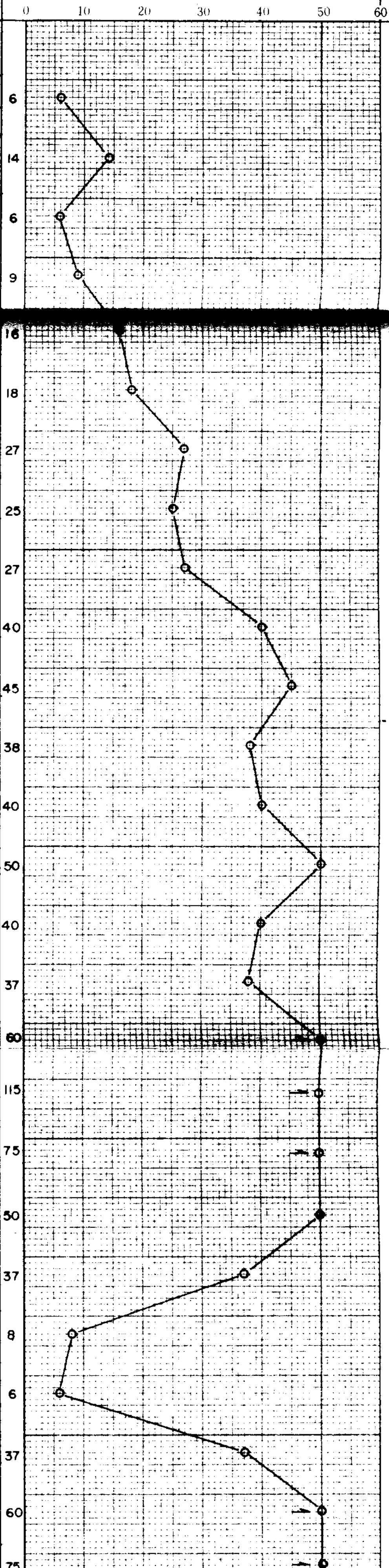
孔内水位(m)/測定月日: 6/29 1.70

掘進月日: 6/27

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15～1.45	1	2	3	6/30	6
2.15～2.45	4	4	6	14/30	14
3.15～3.45	3	2	1	6/30	6
4.15～4.45	4	2	3	9/30	9
[illegible]～5.45	5	5	6	16/30	16
6.15～6.45	5	6	7	18/30	18
7.15～7.45	8	9	10	27/30	27
8.15～8.45	7	8	10	25/30	25
9.15～9.45	8	9	10	27/30	27
10.15～10.45	11	13	16	40/30	40
11.15～11.45	12	13	20	45/30	45
12.15～12.45	9	13	16	38/30	38
13.15～13.45	12	13	15	40/30	40
14.15～14.45	12	18	20	50/30	50
15.15～15.45	11	13	16	40/30	40
16.15～16.45	9	12	16	37/30	37
17.15～17.40	15	20	15/5	50/25	60
18.15～18.28	35	15/3		50/13	115
19.15～19.35	20	30		50/20	75
20.15～20.45	10	16	24	50/30	50
21.15～21.45	9	12	16	37/30	37
22.15～22.45	2	3	3	8/30	8
23.15～23.45	2	2	2	6/30	6
24.15～24.45	10	12	15	37/30	37
25.15～25.40	15	20	15/5	50/25	60
26.15～	20	30		50/20	75

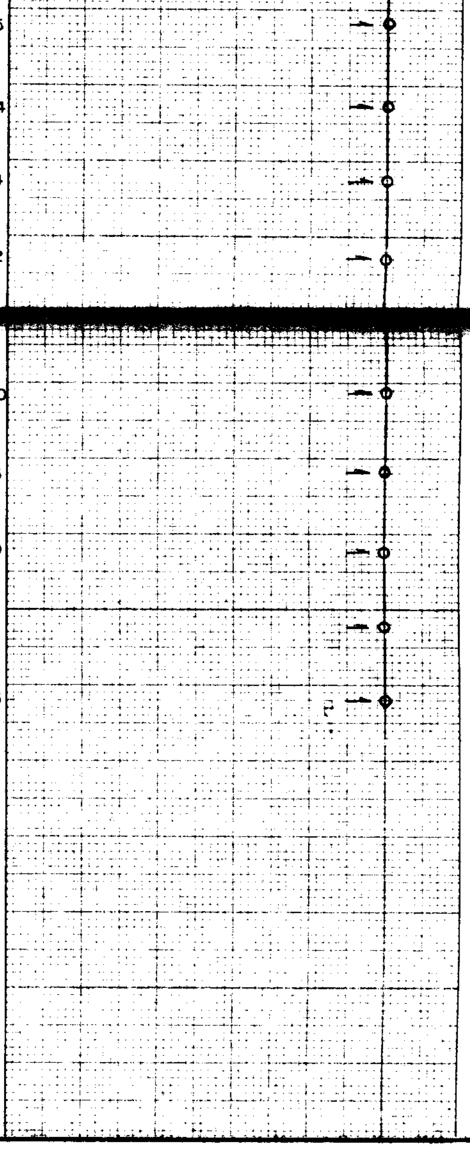
N値



原位置試験 / 試料採取 / 室内試験 / 掘進月日

深度	標高	層厚	深度	土質区分	色調	相対密度	記事
26–28	-28.41	3.10	28.70	細砂	暗灰褐	非常に密な	含水多い。粒子均一である。
29	-29.51	1.10	29.80	細砂	暗茶褐	非常に密な	酸化鉄分を混入する。中砂、粗砂を混入する。
30–35	-35.06	5.55	35.35	細砂	暗褐	非常に密な	粒子均一である。含水多い。

試験深度 (m)	0–10	10–20	20–30	打撃回数/貫入量	N値
26.15	20	30		50/20	75
26.35–27.15	13	17	20/8	50/28	54
27.43–28.15	15	20	15/8	50/28	54
28.43–29.15	10	16	24	50/29	52
29.44				50/	
30.25–31.15	35	15/5		50/15	100
31.30–32.15	20	30		50/20	75
32.35–33.15	25	25/9		50/19	79
33.34–34.15	22	28		50/20	75
34.35–35.15	20	30		50/20	75
35.35					



6/28

6/29

〈凡 例〉

柱状図および土質区分

第 1 分 類

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土(GF)	
	砂 (S)	
	砂質土(SF)	
	シルト(M)	
	粘性土(C)	
	有機質土(O)	
	火山灰質粘性土(V)	
	高有機質土(腐植土) (Pt)	

第 2 分 類

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質(S)	
	シルト質(M)	
	粘土質(C)	
	有機質(O)	
	火山灰質(V)	
	玉石混り(-B)	
	砂利，礫混り(-G)	
	砂混り(-S)	
	シルト混り(-M)	
	粘土混り(-C)	
	有機質土混り(-O)	
	火山灰混り(-V)	
	貝殻混り(-Sh)	

第 3 分 類

区分		分類名	図模様
岩石材料	岩盤	硬岩(HR)	
		中硬岩(MR)	
		軟岩，風化岩(WR)	
		玉石(B)	
特殊土材料		浮石(軽石)(Pm)	
		シラス(Si)	
		スコリア(Sc)	
		火山灰(VA)	
		ローム(Lm)	
		黒ボク(Kb)	
		マサ(WG)	
表土(Ss)			
埋土(FI)			
廃棄物(W)			

試料採取方法

Ⓣ シンウォールサンプラーによる

Ⓓ デニソンサンプラーによる

㊀ 貫入試験器による

Ⓕ フォイルサンプラーによる

Ⓐ (　　　　　　　　　)による

備考